



## 曲げ強度試験

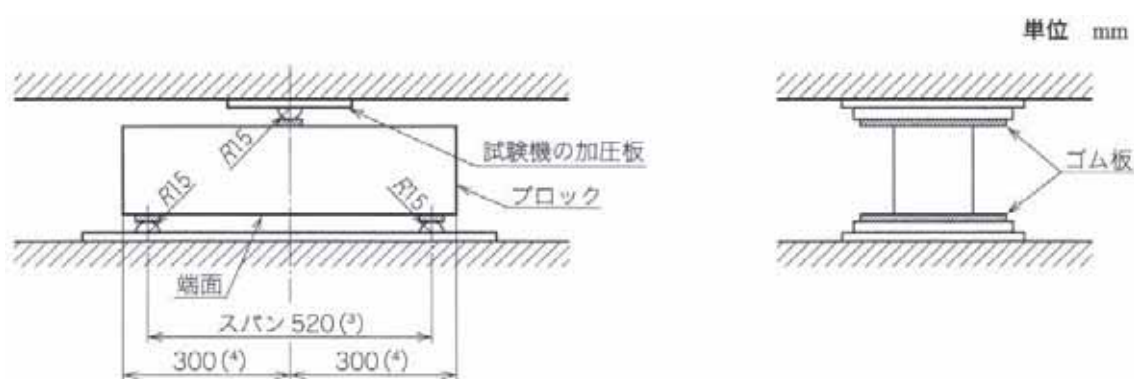
曲げ強度試験は、ブロックを図 - 2 のように据付け、スパン(L)を共同検査規約による製品曲げ強度荷重の値にとり、スパンの中央に荷重を加えて行い、製品曲げ強度荷重規格値表に規定する曲げ強度荷重において、ひび割れの有無を確認する。

曲げ強度試験を行うときは、ブロックの加圧面及び支持面にゴム板を挿入し、荷重が均等に分布されるようにしなければならない。

### 曲げ強度試験方法

#### 推奨仕様 2 2 境界ブロック

図 - 2



注(3) 製品寸法(l)が 2000mm の場合には、1000mm とする。

注(4) 製品寸法(l)が 1000mm の場合には、500mm、2000mm の場合には、1000mm とする。

備考 試験機は、JIS B 7721 に規定する 1 等級以上の試験機又はこれと同等以上の許容値をもつものを使用する。

### 曲げ強度試験

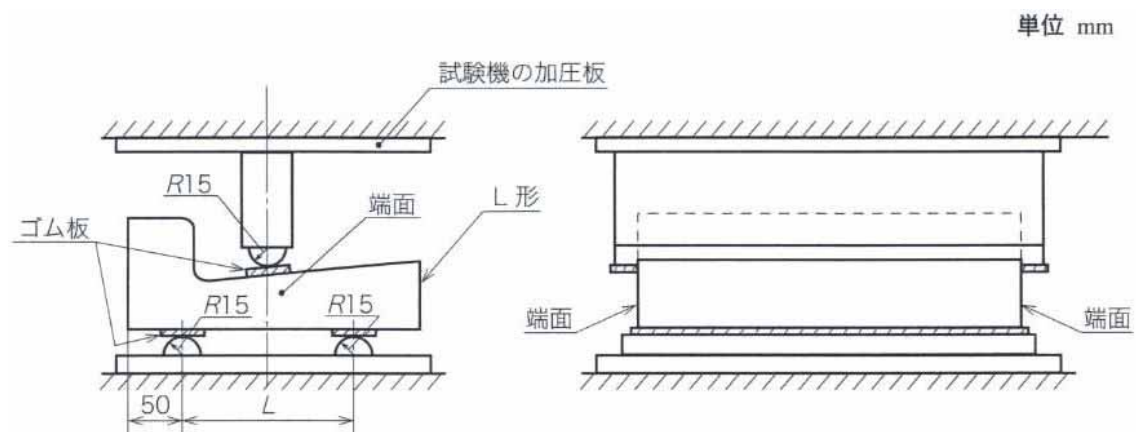
曲げ強度試験は、L 形を図 - 3 のように据付け、スパン(L)を共同検査規約による製品曲げ強度荷重の値にとり、スパンの中央に荷重を加えて行い、製品曲げ強度荷重規格値表に規定する曲げ強度荷重において、ひび割れの有無を確認する。

曲げ強度試験を行うときは、L 形の加圧面及び支持面にゴム板を挿入し、荷重が均等に分布されるようにしなければならない。

### 曲げ強度試験方法

#### 推奨仕様 3 1 L形側溝

図 - 3



備考 試験機は、JIS B 7721 に規定する 1 等級以上の試験機又はこれと同等以上の許容値をもつものを使用する。